

官報

号外 昭和三十二年十一月十一日

○国第二十七回 衆議院会議録第七号

昭和三十二年十一月十一日(月曜日)

議事日程 第七号

昭和三十二年十一月十一日 午後一時開議

第一 日本銀行政策委員会委員長
命につき同意の件

第二 鉄道建設審議会委員長に
つき同意の件

第三 検査官任命につき事後承認
の件

第四 原子力委員会委員長に
つき同意の件

第五 公正取引委員会委員長
命につき事後承認の件

第六 中央更生保護審査会委員
長につき同意の件

第七 社会保険審査会委員長
命につき事後承認の件

第八 運輸審議会委員長に
つき同意の件

第九 労働保険審査会委員長
命につき事後承認の件

第十 地方自治法第五十六条第六項
規定に基づき、放射線医学総合研
究所の設置に関し承認を求める
の件(参議院送付)

第十一 社会保険審査会委員会委
員長につけ事後承認の件

第十二 運輸審議会委員長につき
同意の件

第十三 労働保険審査会委員長に
つき同意の件

第十四 会期延長の件

第十五 日本銀行政策委員会委
員長につけ同意の件

第十六 鉄道建設審議会委員長
命につき同意の件

第十七 検査官任命につき事後
承認の件

第十八 中央更生保護審査会委員
長につけ同意の件

第十九 日本放送協会経営委員会委
員長につけ同意の件

第二十 会期延長の件

第二十一 日本銀行政策委員会委
員長につけ同意の件

第二十二 鉄道建設審議会委員長
命につき同意の件

会期延長の件
検査官任命につき事後
承認の件

日本銀行政策委員会委員長につけ同意の件
鉄道建設審議会委員長につけ同意の件
検査官任命につき事後承認の件
原子力委員会委員長につけ同意の件
公正取引委員会委員長につけ同意の件
中央更生保護審査会委員長につけ同意の件
社会保険審査会委員長につけ同意の件

日程第四 原子力委員会委員任命
につき事後承認の件

日程第五 公正取引委員会委員長
任命につき事後承認の件

日程第六 中央更生保護審査会委
員任命につき事後承認の件

日程第七 社会保険審査会委員長
任命につき事後承認の件

日程第八 運輸審議会委員任命に
つき事後承認の件

日程第九 日本放送協会経営委員
会委員任命につき事後承認の件

日程第十 労働保険審査会委員任
命につき事後承認の件

日程第十一 放射線医学総合研究
所の設置に関し承認を求める
の件(参議院送付)

日程第十二 検査官任命につき事後
承認の件

日程第十三 会期延長の件

日程第十四 日本銀行政策委員会委
員長につけ同意の件

日程第十五 鉄道建設審議会委員長
命につき同意の件

日程第十六 会期延長の件

日程第十七 日本銀行政策委員会委
員長につけ同意の件

日程第十八 鉄道建設審議会委員長
命につき同意の件

日程第十九 検査官任命につき事後
承認の件

日程第二十 中央更生保護審査会委
員長につけ同意の件

日程二十一 日本放送協会経営委員
会委員長につけ同意の件

日程二十二 放射線医学総合研究
所の設置に関し承認を求める
の件(参議院送付)

日程二十三 検査官任命につき事後
承認の件

日程二十四 会期延長の件

日程二十五 日本銀行政策委員会委
員長につけ同意の件

日程二十六 鉄道建設審議会委員長
命につき同意の件

○議長(益谷秀次君) これより会議を
午後八時二十九分開議

○議長(益谷秀次君) 会期延長の件に
開きます。

○議長(益谷秀次君) 会期延長の件に
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 申出の通り同意を
与えるに御異議ありませんか。

○議長(益谷秀次君) 「異議なし」と呼ぶ者あり

○議長(益谷秀次君) 御異議なしと認
めます。よって、同意を与えるに決し
ました。

○議長(益谷秀次君) 御異議なしと認
めます。よって、承認を与えるに決し
ました。

○議長(益谷秀次君) 日程第二につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 任命につき事後承認の件
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第五につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第六につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第七につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第八につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第九につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十一につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十二につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十三につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十四につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十五につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十六につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十七につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十八につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第十九につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程第二十につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十一につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十二につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十三につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十四につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十五につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十六につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十七につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十八につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程二十九につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程三十につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程三十一につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程三十二につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程三十三につき
お詫びいたします。

○議長(益谷秀次君) 日程三十四につき
お詫びいたします。

附則第六項の次に次の二項を加える。

7 在ボーランド及び在チニッコ

スロヴァキアの各日本大使館

に勤務する外務公務員に対して

支給する在勤俸については、当

分の間、在ソヴィエト連邦日本

国大使館に勤務する外務公務員

に対して支給する在勤俸の例による。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

〔報告書は会議録追録に掲載〕

〔野田武夫君登壇〕

○野田武夫君　ただいま議題となりました在外公館の名称及び位置を定める

法律等の一部を改正する法律案につきまして、外務委員会における審議の経過並びに結果を御報告申し上げます。

この法案は、最近独立いたしましたマラヤ連邦に大使館を新設し、また、從来公使館でありましたスエーデン、オーストリア及びユーゴスラビアに大使館を昇格設置し、これに必要な在外公館の名称及び位置を定める法律及び在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部をそれぞれ改正しよるとするものであります。これら閉会中に急を要しましたので、政令をもつてすでに実施中であります。これを法律化するものであります。

マラヤ連邦に大使館を新設いたしましたのは、この新興国との善隣友好の実をあげる必要上、また、米、英、独、仏、オーストリア、タイ、イン

ドネシア等の各国もそれぞれ大使館を新設する情勢にあり、わが方も緊急措置をすることいたしましたわけであります。

○野田武夫君登壇

○野田武夫君登壇

した在外公館の名称及び位置を定める

法律等の一部を改正する法律案につきまして、外務委員会における審議の経過並びに結果を御報告申し上げます。

この法案は、最近独立いたしましたマラヤ連邦に大使館を新設し、また、從来公使館でありましたスエーデン、

オーストリア及びユーゴスラビアに大使館を昇格設置し、これに必要な在外公館の名称及び位置を定める法律及び

在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部をそれぞれ改正しよるとするものであります。これら

閉会中に急を要しましたので、政令をもつてすでに実施中であります。これを法律化するものであります。

マラヤ連邦に大使館を新設いたしましたのは、この新興国との善隣友好の

実をあげる必要上、また、米、英、

独、仏、オーストリア、タイ、イン

ドネシア等の各国もそれぞれ大使館を新設することいたしましたわけであります。

○山中貞則君　議事日程追加の緊急動議を提出いたします。すなわち、この

際、參議院送付、地方自治法第百五十

スエーデン等三国の大使館昇格は、いずれも相手国からの強い希望の申出があり、また、公使館よりも大使館の方が外交上有利でありますので、これを至急実施した次第であります。

その他、この法案におきましては、ソ連邦において在ソ連外交官等の外貨交換レートの改正が行われましたので、在ソ連大使館勤務の外務公務員の在勤俸を平均二割方減額いたしましたこと、及び、在ボーランド及び在チニッコ

ソ連邦において在ソ連外交官等の外貨交換レートの改正が行われましたので、在ソ連大使館勤務の外務公務員の在勤俸を平均二割方減額いたしましたこと、及び、在ボーランド及び在チニッコ

六条第六項の規定に基き、放射線医学総合研究所の設置に関し承認を求める件を議題とし、委員長の報告を求めめ、その審議を進められることを望みます。

〔報告書は会議録追録に掲載〕

〔音野和太郎君登壇〕

○音野和太郎君　ただいま議題となりました、地方自治法第百五十六条第六項の規定に基き、放射線医学総合研究所の設置に関し承認を求める件を議題とします。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(益谷秀次君)　山中君の動議に御異議ありませんか。

○議長(益谷秀次君)　採決いたしました。本件は委員長報告の通り承認するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(益谷秀次君)　御異議なしと認めます。よって、本件は委員長報告の通り承認するに決しました。

○議長(益谷秀次君)　本日はこれにて散会いたします。

午後八時四十二分散会

まず、本件の要旨を申し上げます。

放電線医学総合研究所は、前国会において、茨城県那珂郡東海村に設置する所の設置に関し承認を求める件を議題とします。

○議長(益谷秀次君)　本件は委員長報告の通り承認するに決しました。

放電線医学総合研究所は、内閣官房長官愛知揆一君

科学技術政策次官吉田萬次君

外務政務次官松本瀧藏君

出席政府委員唐澤俊樹君

内閣官房長官愛知揆一君

法務大臣唐澤俊樹君

農林水産委員横路節雄君

建設委員中村高一君

大蔵委員田中伊三次君

法務委員田中伊三次君

君去る七月二十三日委員

辞职につきその補欠

委員の辞任を許可した。

内閣委員

法務委員

君去る九月議長において承認した北島武雄同日政府委員に任命した旨の通知を受領した。

大蔵省管財局長北島武雄同日政府委員に任命した旨の通知を受領した。

岸内閣總理大臣から益谷議長宛、去る九日議長において承認した北島武雄同日政府委員に任命した旨の通知を受領した。

去る九日決算委員会において、次

の通り理事を補欠選任した。

正男君君去る七月二十三日委員

辞职につきその補欠

委員の辞任を許可した。

一、去る九日議長において、次の通り
常任委員の補欠を指名した。
内閣委員 横路 節雄君

法務委員 永井勝次郎君

大蔵委員 中村 高一君

農林水産委員 上林興市郎君

建設委員 田中幾三郎君

決算委員 堀川 恒平君

山田 長司君 片島 港君

上林興市郎君 山田 長司君

科学技術振興対策特別委員 滝井 義高君

二、去る九日議長において、次の特別
委員の辞任を許可した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

三、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 神田 大作君

四、去る九日議長において、次の特別
委員の辞任を許可した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

五、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 神田 大作君

六、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

七、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

八、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

九、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

十、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

十一、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

十二、去る九日議長において、次の通り
特別委員の補欠を指名した。

科学技術振興対策特別委員 堂森 芳夫君

一、今十一日参議院から受領した内閣
提出案は次の通りである。
在外公館の名称及び位置を定める法
律等の一部を改正する法律案
地方自治法第百五十六条第六項の規
定に基き、放射線医学総合研究所の
設置に関する承認を求めるの件
一、今十一日委員会に付託された議案
は次の通りである。
在外公館の名称及び位置を定める法
律等の一部を改正する法律案（内閣
提出第二号）（参議院送付）

一、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。
國政調査承認要求書

一、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

二、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

三、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

四、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

五、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

六、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

七、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

八、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

九、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十一、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十二、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十三、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十四、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十五、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十六、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十七、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十八、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

十九、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

二十、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

二十一、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

二十二、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

二十三、決算委員長から提出した次の国政
調査承認要求に対し、議長は去る九
日これを承認した。

衆議院会議録第五号中止表

正誤表

右によつて國政に關する調査を致し
たいから衆議院規則第九十四条によ
り承認を求める。

昭和三十二年十一月九日 決算委員長 青野 武一

衆議院議長益谷秀次殿